

# 日退教 都退教協だより

No.260

'14. 6. 18

東京都退職教職員協議会 会長 秋元松彦  
〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-6-2 日本教育会館2F  
東京都立学校教職員組合内  
TEL 03-5276-1311 FAX 03-5276-1312  
E-mail ttutokyo@oak.ocn.ne.jp

## 退職者も「外に」出よう

―日退教第四十九回定期総会開催される―

六月一日午前十一時より、日本教育会館において標記の総会が開催されました。

冒頭の挨拶で、西澤会長は次のように述べました。

「日退教は、二〇〇五年退職者運動の脱皮を目指して、社会参加への道を模索してきた。それは二〇〇四年からの年金課税、つまり不公平税制の抜本的改正が一つのきっかけだった。まず、少子高齢化が進む中で、新自由主義の下、雇用の非正規化が行われ、所得格差が拡大した。これを世代間格差というごまかしの論理で対立をおおった。あ

るのはより高い利潤を求めるグループと、互いに助け合う人間グループである。

「この後、来賓の阿部退職者連合会長、小西日教組副委員長、那谷屋参院議員、伊藤教職員共済専務理事、神本参院議員、北村退女教会長、木下相互共済会理事長、森越生きがい支援協会理事長から、連帯と激励の挨拶がありました。続いて、二〇一三年度経過報告と二〇一四年度活動方針提案があり、昼食休憩になりました。午後からは、会計・決算・監査報告と次年度予算案が行われ、これらを一括しての質疑・討論に移りました。ここでは、北海道から沖縄まで各ブロック十一人の活発な発言があり、方針は原案通り可決され、閉会しました。(柴田記)

## 第四十回定期総会開催通知

二〇一四年度  
二〇一四年六月十八日

東京都退職教職員協議会会長 秋元松彦

### 会員各位

一 昨年の衆議院選挙、昨年の参議院選挙で自・公政権が復活して以後、安倍首相の下、きわめて危険な政策が打ち出されています。憲法改悪、集団的自衛権、特定秘密保護法等々です。

このような事態の中で、私たち高齢者が安心して生活できる社会の実現に向け、左記により第四十回定期総会を開催します。今年度の会場は、例年のラポールではなく、日本教育会館5階の日教組会議室を拝借し開催致します。部屋は小さいですが、総会に参加された皆さんとじっくり話し合い活動方針を決定したいと思えます。多数の皆様のご出席と活発な話し合いを期待しています。

記

一、日時 七月二日(水) 午後二時開会～四時閉会

二、会場 日本教育会館五階 J T U 会議室(☎〇三二五二七六一三二二)

三、議事 1、二〇一三年度 経過・決算報告 2、二〇一四年度 活動方針・予算案

3、二〇一四年度 役員人事 4、総会宣言その他

※閉会後 神保町の中華料理店「三幸園」(〇三三三九一八八〇)会費三千円で懇親会を開催。  
※連絡先 秋元会長 〇九〇・二七六七・四四七三、松下事務局長 〇九〇・八四六二・六一四一

## メーデー参加記



四月二六日代々木公園のメーデーに参加しました。例年、代々木公園に結集する前に、明治公園に集まり代々木公園までデモ行進を東京教組他の労組の仲間と一緒にするのが恒例だった。然し、今年には明治公園が工事改修中で使

用できず、デモ無し、直接代々木公園二集まった。毎年会場にはブルーシートが敷き詰められていたが、今年はない。暑い日で晴天が続いたこともあり、ホコリがひどくて少々参った。

十一時から式典が始まり主催者代表の挨拶のあと、来賓の挨拶となった。政府から安倍総理と田村厚労大臣、共産党を除く全政党的代表が参加した。安倍総理は壇上に立ち、自民党の総理総裁がメーデーで挨拶するのは小泉元総理以来二度目の事だと話し始めたが、激しいヤジ、怒号、帰れコールがわき上がった。しか

し、相手は大音量のスピーカーでしゃーしゃーと言いたいことを喋り降壇し帰った。ヒトラーの姿を見る思いがした。その後政党代表九名の挨拶があった。印象に残ったのは、「新党大地」の鈴木宗男議員のものぐらだった。

挨拶の要旨は、「北海道を地盤とする地域政党に過ぎない新党大地を招待してくれた連合の度量の大きさに感謝する。会場の皆さんが主張されている、派遣社員、非正規労働者等の常に差別を受けている仲間の救援・支援についてはよく理解できる。自分は政治の世界に飛び込んで以来、一貫して差別と迫害にさらされてきたアイヌ民族の方々を支援してきたので、そこに通じ合うものがある。これからも差別のない世界の構築に全力を注ぎたい」といったものだった。この後、メーデー宣言、団結頑張ろうで閉会した。参加者は十五名でした。暑い中参加された会員の皆様、ご苦労さまでした。(秋元記)

## 第1回東アジア海外研修旅行 参加者募集

第二次安倍政権によって、特定秘密保護法の成立、靖国神社公式参拝そして閣議決定により憲法を解釈変更しての集団的自衛権行使表明と、国内はもとより、東アジアへの挑発行為は目に余るものがあります。

日退教他3団体は、あえて、このような時期に民間交流を進め東アジア諸国との友好を深めることの意義を大切と考え、今年度から4年間の東アジア研修旅行を予定し、その第一回目として、以下のような一般のツアーではできない旅を企画しました。

会員その他の方の参加をお待ちしています。

- ・目的：高齢者・介護施設見学、学校訪問等の交流と中国の3つの世界遺産(兵馬俑、龍門石窟、少林寺)を巡り見聞を深める
- ・期間：2014年10月23日(木)～27日(月) 4泊5日
- ・参加資格：趣旨に賛同する元(現)教職員・家族・友人
- ・旅費：およそ21万円(全日程食事つき)
- ・申込方法：Fax 03-5275-2081(日退教)  
Eメール:nittaiky@gmail.com  
名前、郵便番号、住所、電話番号をお知らせください。  
申込んだ個人には正式な申込用紙・資料を送ります。
- ・実施主体：・日退教 ・NPO 日中交流促進協会、  
・グローシーズ・サポート(旅・風土記)  
・陝西省勤労者対外交流センター
- ・申込締切：2014年7月末日

